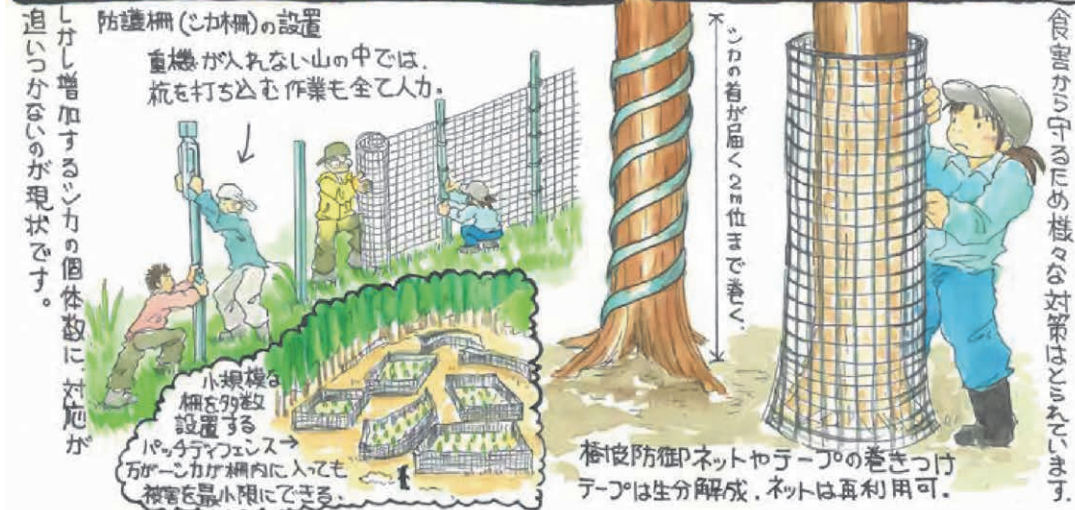
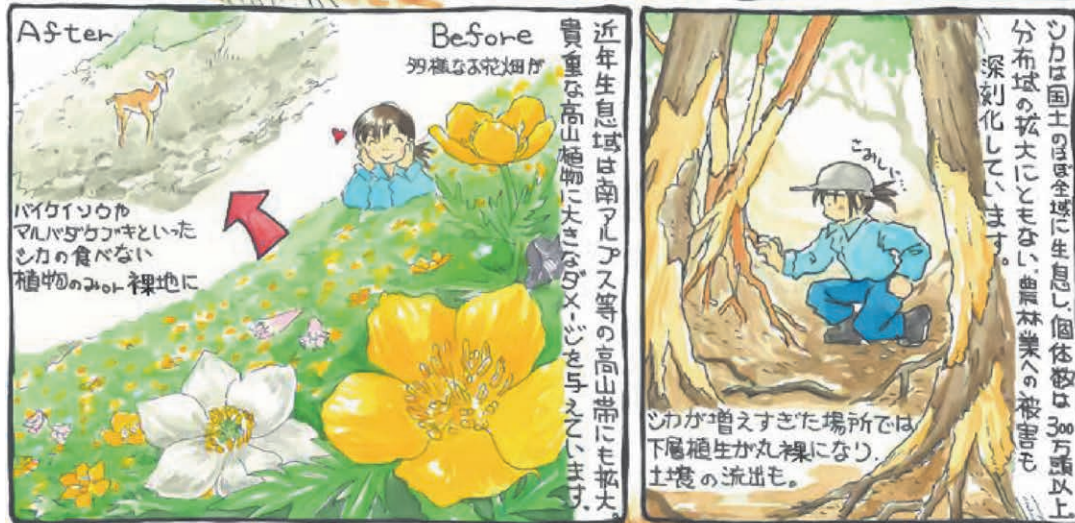
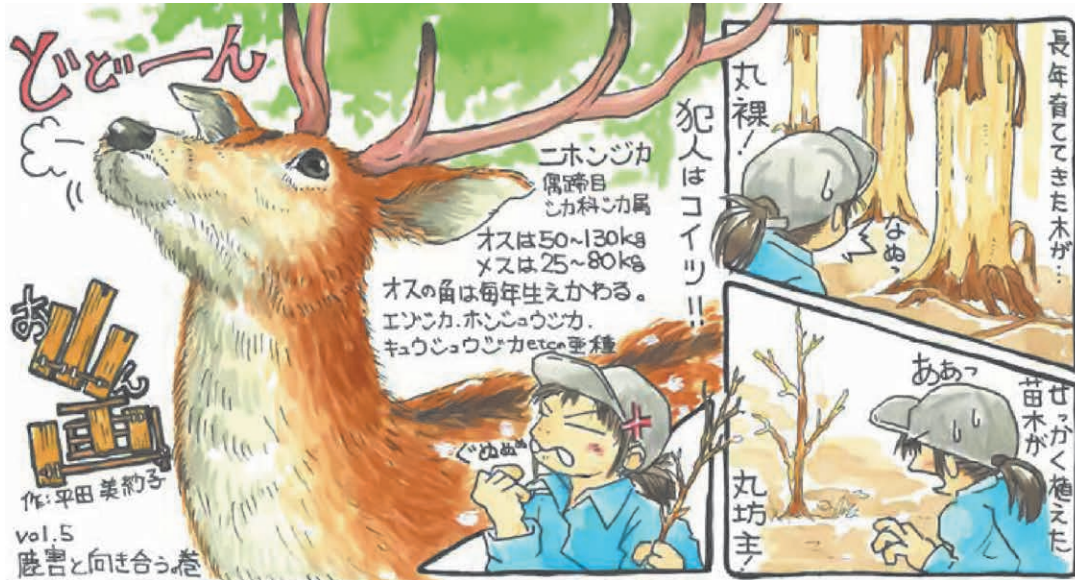


林業漫画 お山ん画「鹿害と向き合う」

林野庁北海道森林管理局

平田美紗子



ほんかいほう
糞塊法

シカの個体数を調べる調査。
固定のルートで調査員が歩き、
左右50cm範囲の糞塊を全て数える。



あッ
下ばかり見ながら獣道を行くので
はったりワマに会うことも!

●が10粒以上なら
糞塊としてカウント。

その為にはまず、シカの個体数を調査することが欠かせません



シカが増えすぎた場所では、生態系のバランスも変化します。

ウグイスやコマドリといった
ササ、下層木を生活の場に
利用する鳥は減少

食草の減少により、絶滅の
危機にあるマウラボウ蝶



また、個体数調整により捕獲されたシカや
狩猟者からの情報も重要です。

生態調査にはセンサーカメラやGPS装着輪
発信機を用います。
以合う?
データ回収後は、
脱着します。



ラインセンサス法

固定ルートを車で走り
目撃したシカの数より
個体数を調べる。

とにかく人海戦術でシカを数える
区画法なんてのもあります。



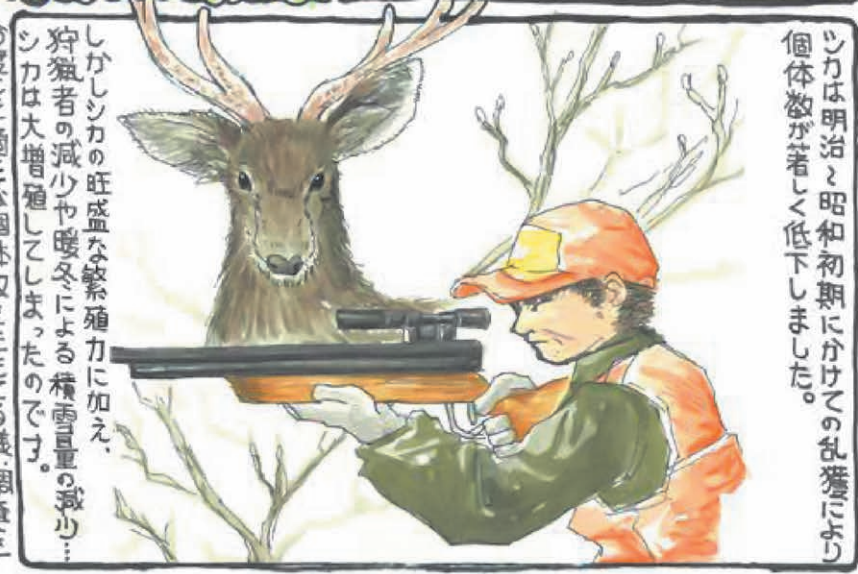
夜中の調査はライトを用いてせまる目を探す。
気分はすっかりナイトサファリ!



人と森とシカの上で生きていける方ができるとよいに

きちんと食べるのが
供養と想っています!
いただきます!

そしてシカ肉は鉄分も多
く、ひじょーに美味しいです。



シカは明治と昭和初期にかけての乱獲により
個体数が著しく低下しました。

しかしシカの旺盛な繁殖力に加え、
狩猟者の減少や暖冬による積雪量の減少、
シカは大増殖してしまっただけです。
今度こそ適正な個体数をたもてる機、調査を
続けると同時に狩猟者の育成や捕獲したシカ
の活用方法を整備し、